

宗教と現代世界研究会

- テーマ・概要 本研究会は、一般財団法人鹿島平和研究所と政策シンクタンクPHP総研が、政治や経済、社会において宗教が果たしている役割について多面的な理解を深めることをめざして、2023年10月に開始した共同プロジェクトである。
- 近代以降世界システムの中核をなしてきた米欧のパワーの卓越が陰りを見せ、ユダヤ・キリスト教文明と異なる背景を持つ文明的大国が台頭する中、各文明の基盤をなす宗教性への理解が、機能する国際秩序を構想する上で不可欠の要素となっている。
- しかし、宗教がもつ重要性にもかかわらず、日本では、特に政治や経営において宗教への理解が乏しく、宗教が政治や経済、社会で果たしている役割が十分に認識されているとは言い難い。
- 以上のような問題意識から本研究会では、現代社会の趨勢と宗教の相互作用、主要国の政治や社会における宗教の影響、特定宗教のグローバルな展開などについてゲスト講師を招いて検討を重ね、国際政治や社会経済活動にとっての宗教の意味合いを明らかにしていく。
- 研究会の成果は、月刊誌『Voice』（PHP研究所）等で広く社会に公表し、政官財学各界への啓発を積極的に行なっていく。
- 2023年度は宗教と現代世界・国際政治との関りを中心に事例研究を行なった。

期 間 2023年10月1日～2024年9月30日

-
- 開催実績
(2023年度)
- メンバーとゲスト講師による事例研究会を計3回開催
- ・第1回事例研究会
 - 日時：2023年11月21日（火）16:00-18:00
 - テーマ：世界の宗教復興とパンデミック
 - 講師・メンバー：小川忠（跡見学園女子大学文学部教授）
 - ※【『Voice』2024年4月号掲載】
 - 「『宗教復興』から現代世界を読み解く」
 - ・第2回事例研究会
 - 日時：2024年2月5日（月）13:00-15:00
 - テーマ：バチカンと国際政治
 - ゲスト講師：松本佐保（日本大学国際関係学部教授）
 - ※【『Voice』掲載予定】
 - ・第3回事例研究会
 - 日時：2024年3月15日（金）16:00-18:00
 - テーマ：インドにおけるヒンドゥー至上主義の台頭
 - ゲスト講師：中溝和弥（京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科教授）
 - ※【『Voice』掲載予定】

-
- メンバー
- 金子 将史 (主査)
政策シンクタンクPHP総研 代表・研究主幹
株式会社PHP研究所 取締役常務執行役員
- 平泉 信之
一般財団法人鹿島平和研究所 会長
鹿島建設株式会社 顧問
株式会社アバンアソシエイツ 顧問
公益社団法人会社役員育成機構 理事
- 小川 忠
跡見学園女子大学文学部 教授
- 大岩 央
PHP総研 主任研究員